

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築  
及び地域共生社会の実現に向けた  
精神保健福祉士の資質向上の在り方等に関する調査  
**報 告 書**

令和2(2020)年3月



公益社団法人 日本精神保健福祉士協会  
Japanese Association of Psychiatric Social Workers



## はじめに

精神保健福祉士を含むソーシャルワーカーの必要性は、ますます高まっています。「地域共生社会の実現」は、いまや福祉業界のみならず国を挙げての課題となり、ソーシャルワーカーである私たちは、その担い手として期待されるべき立場にあることを自認しています。

一方、2020（令和2）年3月は、戦後日本がこれまでに体験したことがないようなウイルスの感染防止対策を余儀なくされました。行事予定の変更・中止など臨機応変な対応を求められたり、偏見や差別の助長や先行き不安による生活必需品の買い占めなど、情報と誤認に振り回され、健康維持が国民全体の使命感となっていきました。メンタルヘルス不調を抱える人の増加も懸念されます。このような状況であればこそ、自分らしい暮らしを送ることの重要性を再確認し、周囲と助け合える社会の実現は渴望されていると言えます。

さて、公益社団法人日本精神保健福祉士協会（以下、「本協会」）では、昨年度に引き続き、令和元年度障害者総合福祉推進事業として「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築及び地域共生社会の実現に向けた精神保健福祉士の資質向上の在り方等に関する調査研究」を実施しました。これは、2018（平成30）年12月より、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課で開催されていた「精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会」の協議内容を意識しながら、精神保健福祉士の養成と卒後研鑽に関する実態把握と好事例分析を行い、今後に向けて提言することを企図したものです。

本協会は、精神保健福祉士の全国組織として2008（平成20）年度より生涯研修制度を実施していますが、これとは別に、各教育機関や都道府県の職能団体では各地域の特性に応じた専門職養成や卒後研鑽が展開されています。また、精神保健医療福祉の各機関・事業所においても、専門職である精神保健福祉士の力量向上のための取り組みがなされています。これらの個人レベル、職場レベル、地域レベルと多層に展開される特徴を抽出し、より多くの機関・団体の参考となる知見を提供し、また国や地方公共団体におけるバックアップの要請に資する成果を報告書としてまとめました。地域の特徴や、各立場における従事者の熱意や力量に支えられた属人的要素も含む多様な活動を基盤としつつ、支援を要する人々や社会に向けて、精神保健福祉士一人ひとりがより良く機能し貢献できることを願います。そのため、本協会は、専門職としての研鑽を恒常的に支援する仕組みの構築に向けて今後も尽力したいと考えます。

事業の実施には本協会内に設置した「精神保健福祉士養成在り方教育検討委員会」のメンバーが中心的役割を果たし、さらに研修センター内の3委員会委員長の協力を得ました。多忙な本務の合間に尽力くださった皆さまをはじめ、本事業にご協力いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

2020年3月

公益社団法人日本精神保健福祉士協会  
副会長 田村 綾子



# 目 次

<b>第1部 事業目的等</b> .....	1
1. 本事業の背景.....	3
2. 本事業の目的.....	4
3. 本事業の実施内容.....	5
(1) 実施体制.....	5
(2) 実施内容.....	7
<b>第2部 精神保健福祉士資格取得後の継続教育や人材育成の在り方等に係る量的調査の結果及び考察</b> ..	9
1. 精神保健福祉士養成課程を持つ学校・施設の教員を対象としたアンケート調査.....	11
(1) 調査概要.....	11
(2) 調査結果.....	12
(3) 考察.....	47
2. 都道府県精神保健福祉士協会等を対象とした対象としたアンケート調査.....	49
(1) 調査概要.....	49
(2) 調査結果.....	50
(3) 考察.....	76
<b>第3部 精神保健福祉士資格取得後の継続教育や人材育成の在り方等に係る質的調査の結果及び考察</b>	79
1. 質的調査の概要.....	81
2. 質的調査結果.....	82
(1) 精神保健福祉士養成課程を持つ大学の教員で卒後教育に取り組んでいる者を対象とした ヒアリング調査.....	82
養成校①.....	82
養成校②.....	86
養成校③.....	90
(2) 現任の精神保健福祉士で、職場における継続教育に取り組んでいる者を対象とした ヒアリング調査.....	94
職場①.....	94
職場②.....	98
職場③.....	103
職場④.....	110
(3) 都道府県精神保健福祉士協会等で研修の企画・運営に取り組んでいる者を対象とした ヒアリング調査.....	114
都道府県協会①.....	114
都道府県協会②.....	120
都道府県協会③.....	125

<b>第4部 精神保健福祉士資格取得後の継続教育及び人材育成に係る効果的な実施体制の構築に向けた提言</b> .....	129
1. 本事業の総括.....	131
(1) 研修等企画・開催の機能分化の必要性.....	131
(2) 養成教育と卒後教育・継続教育の接続における課題.....	132
(3) 地域の実情に応じた多様な卒後教育・継続教育体制の在り方.....	132
(4) 卒後教育・継続教育における学びの場・機会の多様性.....	133
(5) 企画検討会議における他職種団体からの意見.....	134
2. 提言.....	136
(1) 研修の体系化と機能分化を図る.....	136
(2) 養成教育と卒後教育・継続教育を接続させる仕組みを作る.....	136
(3) 卒業時の「精神保健福祉士初任者としての私の学習プラン」の作成.....	137
(4) 地域で「新人精神保健福祉士」が集う機会を設ける.....	137
(5) 職能団体を軸として地域における人材育成について協議する機会を設ける.....	137
<b>資料編</b> .....	139
1. 精神保健福祉士のキャリアラダー.....	140
2. 量的調査 調査票.....	142
(1) 精神保健福祉士養成課程を持つ学校・施設の教員を対象としたアンケート調査.....	142
(2) 都道府県精神保健福祉士協会等を対象としたアンケート調査.....	150
3. 質的調査 インタビューガイド.....	157
A：精神保健福祉士養成課程を持つ大学等.....	157
B：精神保健福祉士を雇用する職場.....	158
C：職能団体（都道府県精神保健福祉士協会等）.....	160